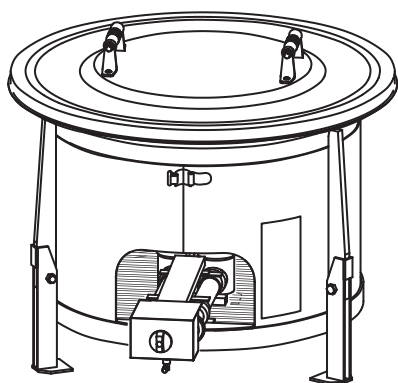


# ダイワ 移動かまど EGS800A EGS800 取扱説明書

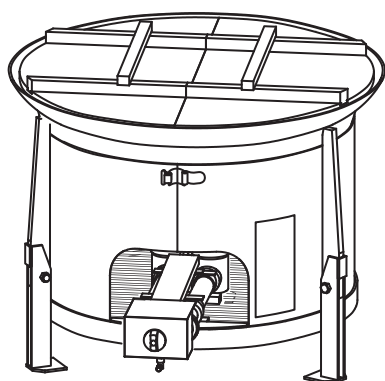
このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、安全で正しいご使用をお願いいたします。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管して下さい。

## もくじ



**EGS800A**



**EGS800**

### 必ず読む

|            |   |
|------------|---|
| 重要なお知らせ    | 1 |
| 安全上のご注意    | 2 |
| 警告表示について   |   |
| 使用上のご注意    |   |
| 各部の名称とはたらき | 3 |

### ご使用方法

|         |     |
|---------|-----|
| 組立・収納手順 | 4.5 |
| 組立手順    |     |
| 収納手順    |     |

### 必要に応じて読む

|              |       |
|--------------|-------|
| 保守・点検・お手入れ方法 | 6.7.8 |
| バーナーに関する注意事項 |       |
| 初めてお使いになる前に  |       |
| 使用後のお手入れ     |       |
| 仕様           | 8     |
| セット内容        |       |
| 基本スペック       |       |
| お問い合わせ       | 8     |

## 重要なお知らせ

### ■使用目的・用途について

- この製品（移動かまど）は、屋外で平釜を使って炊き出しをする際の組立式調理器です。
- 事故・故障を避けるため、本来の使用目的以外の移動かまどの使用や、この取扱説明書に述べている以外の使用方法・保守作業はおやめください。

### ■取扱上の注意

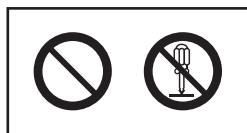
- この「取扱説明書」は安全に関する事項、使用およびお手入れ方法の手順を説明しています。大和重工株式会社（以降当社と記す）は、この取扱説明書記載の指示事項を守らなかったり、移動かまどを改造したり、ご使用中通常必要とされる注意・用心をしないで生じた損害・障害に対しては一切責任を負いません。
- 移動かまどをご使用およびお手入れする場合は、この取扱説明書に記載されている事項に限らず、事故防止対策に関しては十分な配慮が必要です。
- この取扱説明書は、日本語を母国語とする人を対象に作成しています。日本語を母国語としない人がこの移動かまどを取り扱う場合は、取扱者に対して安全指導を徹底してください。

# 安全上のご注意

この安全上の注意をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

## ■警告表示について

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。  
＝安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
- 表示マークについて  
誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を次の表示マークで区分し、説明しています。



おこなってはいけない  
「禁 止」の内容です。



必ず実行していただく  
「強 制」の内容です。

## ■使用上のご注意

### ⚠ 警告

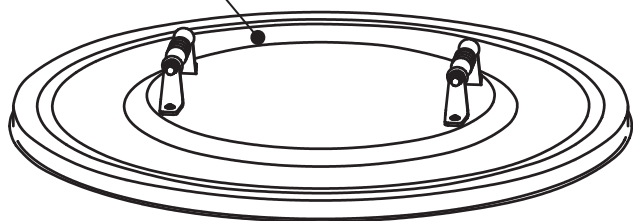
|  |                                                                                                                                                           |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 燃焼中、及び消火後しばらくは、かまど、平釜、カバー、蓋は高温ですので素手で触れないで下さい。<br>特に小さなお子様には十分注意して下さい。                                                                                    |
|  | 平釜を使った炊き出し以外でのご使用はしないでください。<br>※平釜を使つての炊き出し以外でのご使用によるトラブルは保障いたしかねます。                                                                                      |
|  | バーナーに着火する際、予め着火用の火種を準備し、コックを開き着火して下さい。<br>ガスが充満した状態で着火するとガス爆発を起こす恐れがあります。                                                                                 |
|  | 使用後または使用中に火をつけなおす時は、バーナーを手前に引き出し、上記手順で着火して下さい。<br>ガスが充満した状態で着火するとガス爆発を起こしたり、ヤケドをする恐れがあります。                                                                |
|  | バーナーの取扱いについてはバーナーに添付の「バーナーに関する注意事項」をよくお読みの上、<br>正しくお使い下さい。                                                                                                |
|  | 火災予防のため、次のことをお守りください。<br>機器周辺に紙や木材などの燃えやすい物を置かないこと。また、燃えやすいものが設置されている場所で<br>使用しないこと。<br>機器周辺にガソリン・ベンジンなどの引火性危険物やスプレー缶を置いたり、使用しないこと。<br>火をつけたままその場を離れないこと。 |

### ⚠ 注意

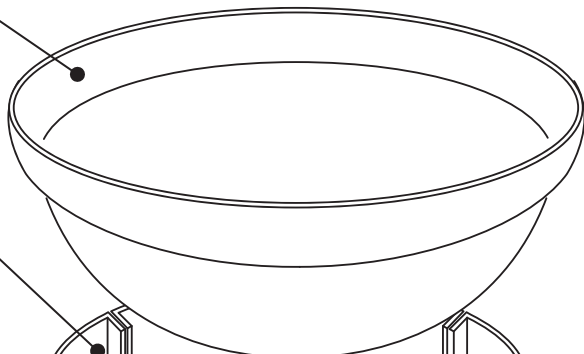
|  |                                                                               |
|--|-------------------------------------------------------------------------------|
|  | 異常に炎を上げたり、空焚きをしないで下さい。<br>ケガやヤケド、火災の原因となります。                                  |
|  | 平釜でお湯などを沸かしすぎた場合、急に蓋を開けたりしないで下さい。<br>湯気、または熱湯などでヤケドをするおそれがあります。               |
|  | 平釜を持ち上げたりする時は、必ず両手でしっかり持って下さい。<br>すべり落としてケガをするおそれがあります。                       |
|  | 燃焼中、及び消火後しばらくは、かまど、平釜、カバー、蓋は高温となりますので、<br>これらに触れる場合には必ず厚手の手袋を着用して下さい。         |
|  | かまど、平釜、ロストルを落としたり、硬いものをぶつけたりしないで下さい。<br>破損するおそれがあります。                         |
|  | 燃料に薪を使った場合、無理に薪を突っ込むとロストルが変形することがあります。<br>また、高温により地面を傷めてしまう場合がありますので注意してください。 |
|  | 支柱で平釜を支えるため、必ず支柱を起こしてご使用ください。                                                 |
|  | バーナーの取り扱い。<br>バーナーを人や可燃物に向けて絶対に運転しないでください。やけどや火災のおそれがあります。                    |
|  | ダンパー調整以外でのバーナーの分解修理・改造の禁止。<br>故障や破損したときは、使用しないでください。 不完全な修理や改造は危険です。          |
|  | ・使用中は必ず点火、消火を確認してください。<br>・長時間その場を離れるときには必ずガスの元栓を閉めてください。                     |

## 各部の名称とはたらき

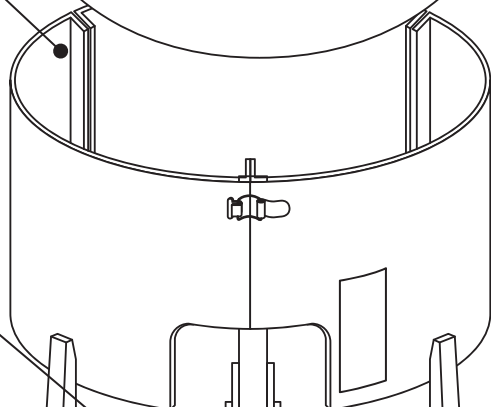
ふた（アルミまたは木）



平釜



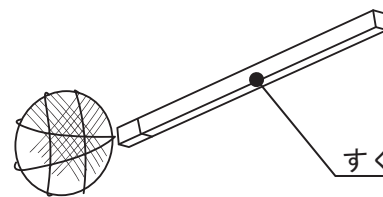
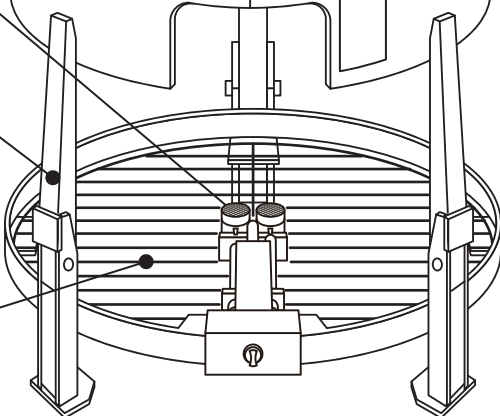
カバー



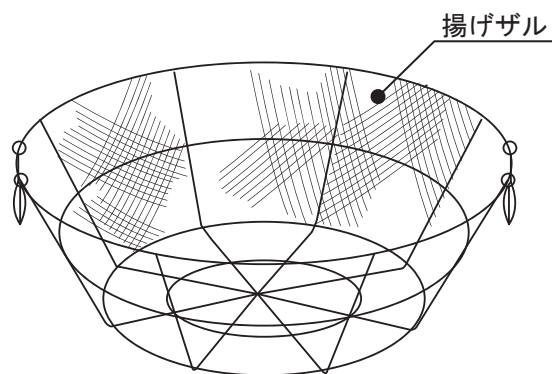
バーナー

かまど

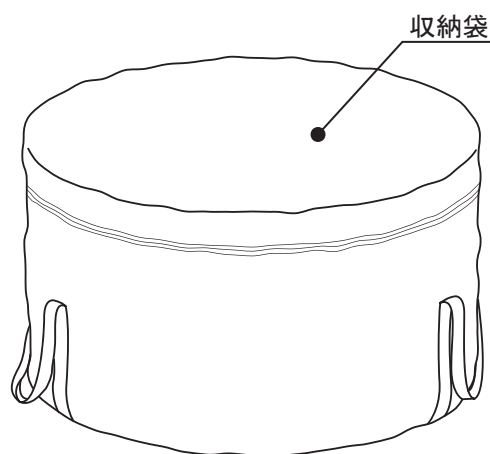
ロストル



すくい網



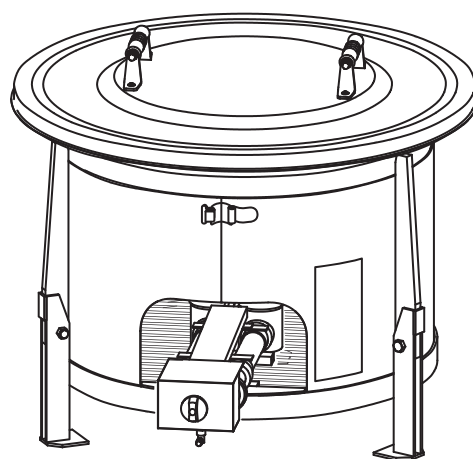
揚げザル



収納袋

## はたらき

- ・ ふた…調理中にゴミが入るのを防ぐ。
- ・ 平釜…調理や湯沸しに使用。
- ・ カバー…風などの熱のロスを防ぐ。
- ・ バーナー…加熱器。
- ・ かまど…燃焼炉。
- ・ ロストル…バーナーを置く棚。
- ・ すくい網…調理に使用。
- ・ 揚げザル…調理やゆで揚げに使用。
- ・ 収納袋…収納、運搬に使用。

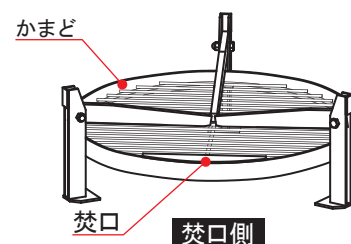


※組立完了イメージ

## 組立手順

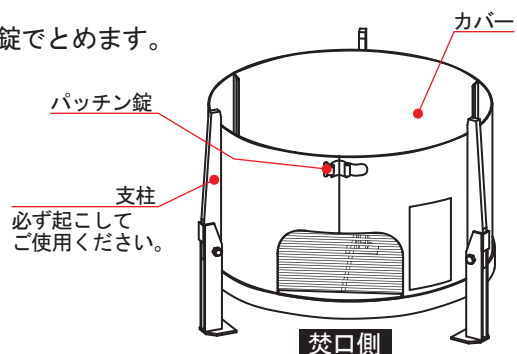
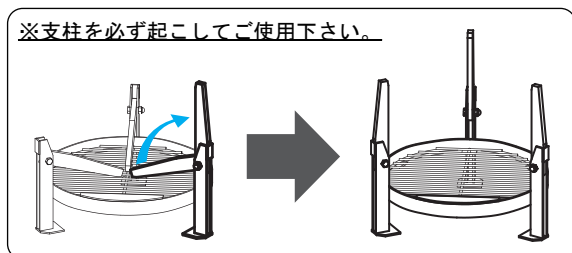
**1** かまどを平らな場所に置く。

収納袋から部品を取り出し、焚口は風が入り込みにくい方向に向け、かまどを平らな場所におきます。  
(図の手前側が焚口です。)

**2** 支柱を起し、カバーをはめる。

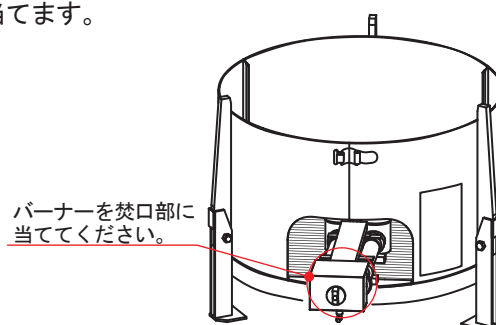
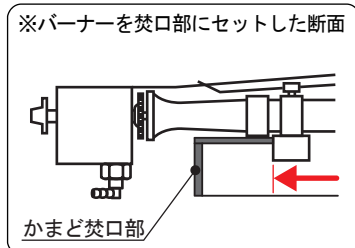
かまどの支柱を起し、カバー（3枚）を焚口の方からはめ込み、パッチン錠でとめます。  
(焚口側にカバー開口部がくるようにはめ込んでください。)

※支柱を必ず起こしてご使用下さい。

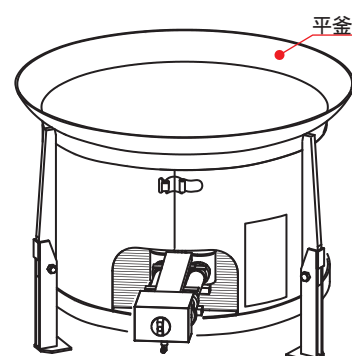
**3** バーナーをセットする。

カバー開口部からバーナーを差し込み、軽く手前に引いてかまど焚口部に当てます。  
※この状態の時、炎噴出口がかまどの中心にきます。

※バーナーを焚口部にセットした断面

**4** 平釜をセットする。

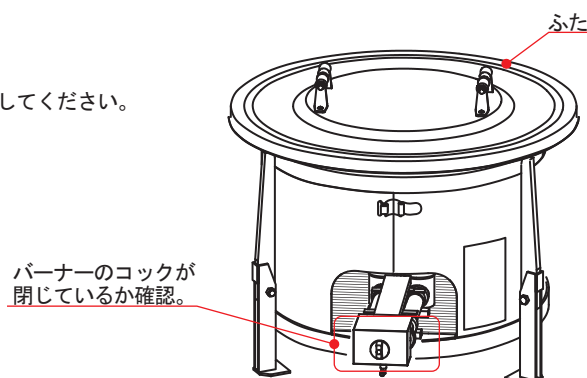
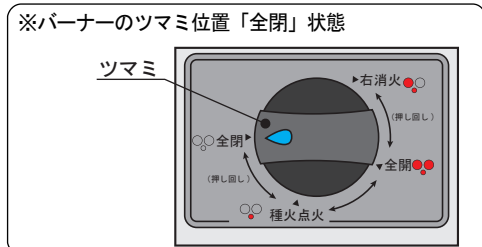
平釜をかまどの脚にのせます。(水平になるようにのせてください。)

**5** ふたをセットする。

用途に合わせてふたをご使用ください。

※ガスホース取付けの前に、バーナーのツマミの位置が「全閉」になっていることを確認してください。

※バーナーのツマミ位置「全閉」状態



バーナーのcockが閉じているか確認。

# 収納手順 使用後、各パーツが完全に熱が冷めていることを確認の上、収納してください。

※図と現物が違う場合があります。

## 1 バーナーを底板にはめる。

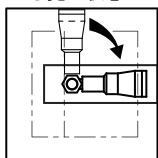
バーナーを底板のみぞにはめ込みます。

※ガス栓用プラグ、ソケット付の場合は、ソケットの向きをツマミに向くように戻し、バーナーを収納してください。

※バーナーを底板にはめた状態

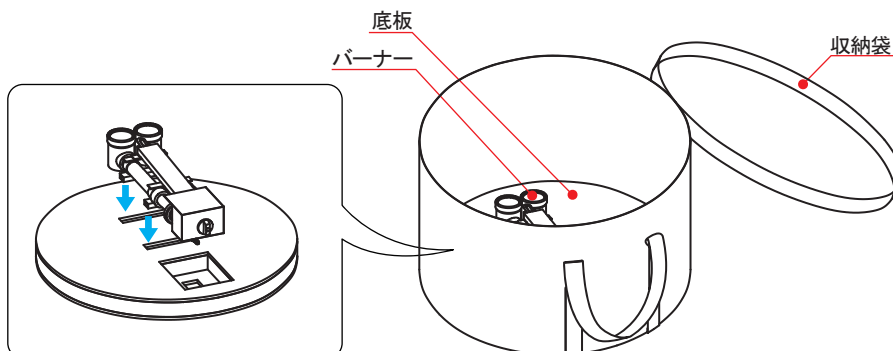
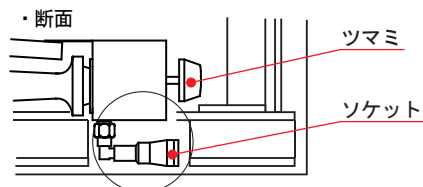
(ガス栓用プラグ、ソケット付の場合)

・上から見た状態



他の向きで収納すると底板にガス栓用ソケットが当たり、荷重がかかり、破損の恐れがあります。

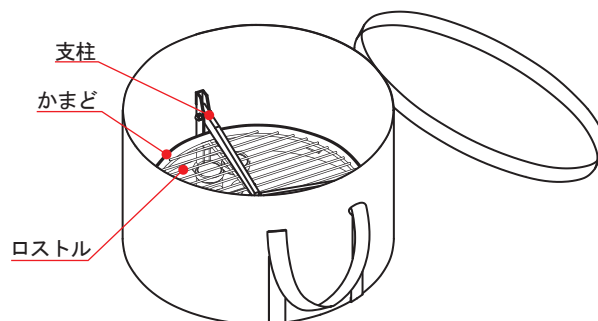
・断面



## 2 かまどを収め、支柱を倒す。

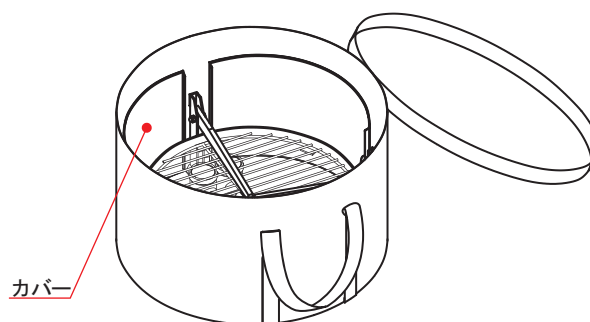
ロストルをセットしたかまどをバーナーに当たらないよう底板に置き、支柱を倒します。

※収納袋を強く引っ張らないでください。



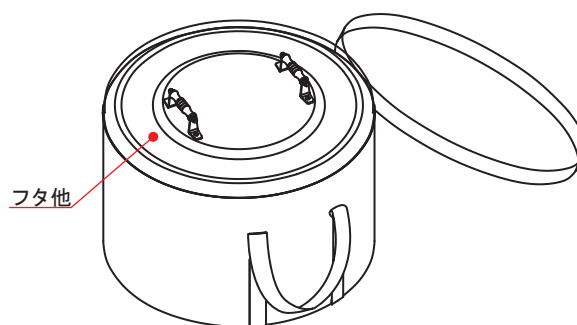
## 3 カバーを収める。

カバーをかまどに沿うように入れます。



## 4 平釜・その他部品を収める。

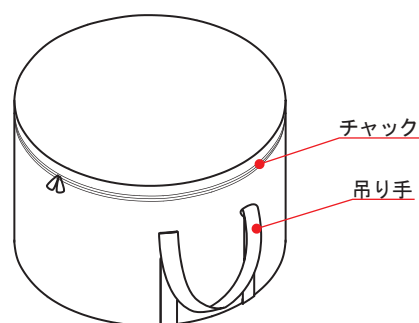
平釜を上からのせ、揚げザル・すくい網を平釜に入れ、ふたをします。



## 5 チャックを閉める。

収納袋を均一に伸ばしながらチャックを閉める。

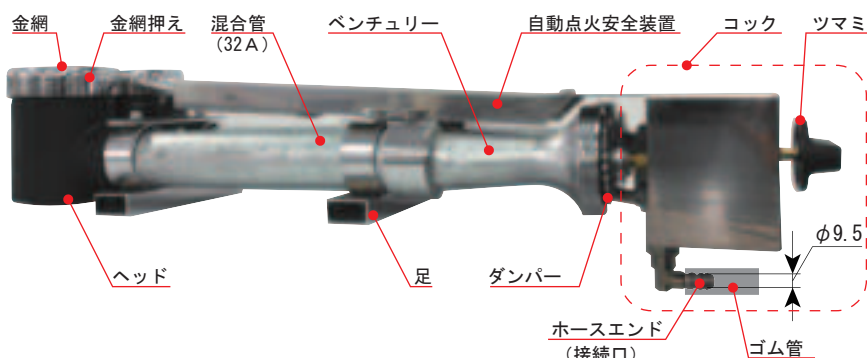
収納袋の吊り手を持って運びます。



# 保守・点検・お手入れ方法

## ● バーナーに関する注意事項

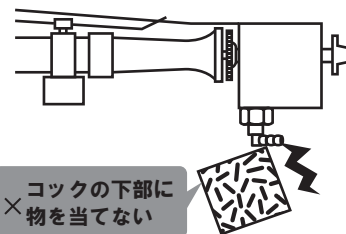
### ※各部の名称



### ⚠ 注意

#### 衝撃注意

取り扱いの際、衝撃を与えないでください。  
ガス漏れ、破損の原因になります。



### 1 使用ガスの種類についての注意

- ・使用ガスの種類、及び燃焼性を確認して、ガスに適合した器具を選定してください。

### 2 火災予防についての注意

- ・バーナーを設置する周囲に可燃物がないかを確認してください。
- ・定期的に器具の点検・清掃をしてください。

### 3 換気についての注意

- ・給気、排気が十分行える場所に設置してご使用ください。

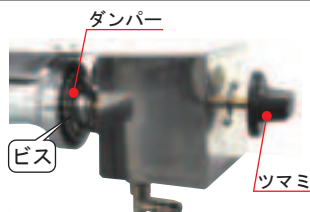
### 4 器具の取り付けについての注意

- ・給気、排気が十分に流れ出るように、移動かまどを組み立て、最後にバーナーを取付けてください。
- ・ゴム管はガス用ゴム管(検査合格、またJISマークの入っているもの)を使用し、赤線までしっかり差し込み、ねじれないようにできるだけ短くしてください。(3m以下で適当にゆとりをもたせる)
- ・低圧ホースを使用する場合は、しっかり接続してください。
- ・接続後はホースの端と接続口が接する部分に検知液を塗るなどしてガス漏れがないかどうかの検査をし、ガスが漏れていないことを確認してご使用ください。
- ・ベンチュリー、コック部(前管部分)はかまど内部より外に出した状態でご使用ください。  
(一次空気の補充と熱によるコックグリスの切れで、赤火、リフティング、ガス漏れの原因になります。)
- ・ホースエンド等の向きの変更、及び改造の場合は漏洩検査を行ってください。  
お買い上げ後、お客様器具の改造による事故等の責任は一切負いかねます。
- ・ゴム管等の継ぎ足し、二股以上の分岐は絶対に行わないでください。

### 5 使用時の注意

- ・ダンパーを調整して、器具に適量の空気を送ってください。(※炎の調整方法参照)  
金網の汚れ、ダンパーの開けすぎで金網が溶けたりして、赤火、逆火の原因になります。
- ・点火後は必ず正しく燃焼しているかどうかを確認し、燃焼していなかったり、炎の色がおかしかった時は、直ちに消火してください。
- ・バーナーは目詰まりしないよう点検、炎孔掃除をしてください。  
(赤火、リフティング、むらやけ等の原因になります。)
- ・ご使用中、消化後しばらくの間は大変熱くなっておりますので触れないでください。
- ・**コックの下部に物を当てないでください。またコックの操作の際、ツマミを持ち上げながら回さないでください。ガス漏れの原因になります。危険ですので誤操作しないでください。**
- ・消火後は、完全に火が消えているかを確認してください。
- ・金網を交換する際、熱、腐食等で金網押えが外れにくくなる場合がありますので、月に数回ゆるめ、締め直してください。
- ・器具に異常を感じましたらガス会社または当社にご連絡ください。

### ※炎の調整方法



ガスコックを開け、着火した時点で金網の表面が全体的に青い炎となっている状態が正常な燃焼状態です。異常燃焼している場合、以下の手順で調整してください。

- ・赤火になっている(空気不足の状態)…ダンパーを左(反時計回り)に回してください。
- ・金網が赤くなっている(逆火で空気過剰の状態)…ダンパーを右(時計回り)に回してください。

炎が正常な状態になったら工具でビス止めしてください。使用中に赤火、逆火となった場合は工具でビスを緩め、再度ダンパー調整し、正常燃焼する位置でビス止めを行ってください。  
なお、逆火状態のまま燃焼を続けると、金網が熱で溶ける場合があります。  
金網が熱で溶けた場合は、金網を交換してください。

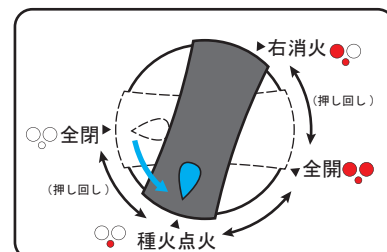
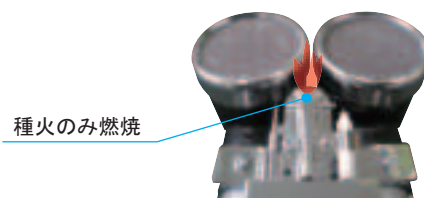
# 保守・点検・お手入れ方法

## ● バーナー操作手順

### 1 種火に点火。

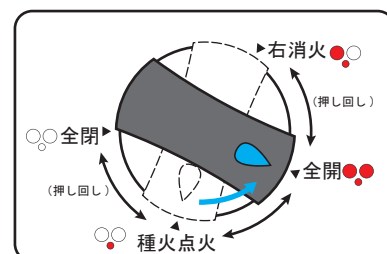
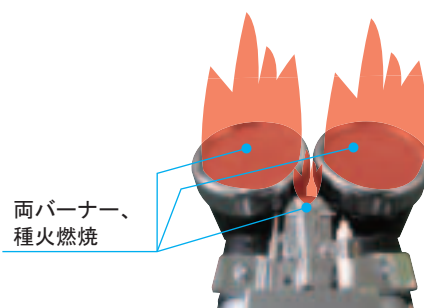
全閉位置から反時計回りにカチッと音がするまで押しまわしてください。

※種火部に火がつかない場合は、種火位置まで押しまわした状態で 10 ～ 20 秒ほど待ち、再度点火し直し、火が定着するまで繰り返してください。



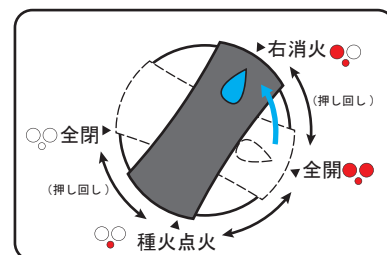
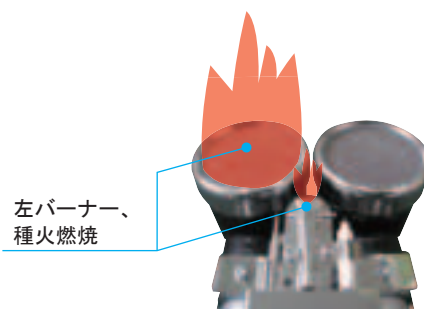
### 2 両バーナーに点火。

全開の位置で両方のバーナーに点火します。



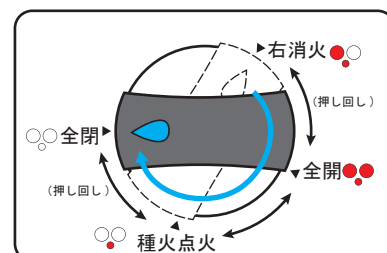
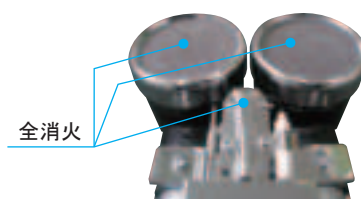
### 3 左側バーナーのみ点火。

全開の位置から反時計回りに押しまわすと右側のバーナーが消え、左側のバーナーのみ点火状態になります。



### 4 全バーナー消火。

全閉の位置にツマミを時計回りに戻すことですべての火が消えます。



**注意：弱火・とろ火では使用しないでください。**

## 保守・点検・お手入れ方法

### ※アフターサービス

#### ・修理について

ご使用中に異常が生じた場合は、お買い求めの販売店、または弊社までご連絡ください。  
 なお、ご連絡されるときは、機器の型式名及びお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。  
 保証期間経過後の商品については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理いたします。

#### ・保証について

当製品は厳重な検査を完了して出荷しておりますが、万一、通常のご使用の際に生じた故障に対して下記の保証規定にしたがって無償修理いたします。

#### ＜保証規定＞

- ご購入日から満1年以内に通常取り扱いにおいて、製作上の欠陥が発生し、弊社がその欠陥を認めた場合に限り、その修理の責任を負います。
- 次の場合は、有効期間内でも、有償となりますのでご了承ください。
  - ご使用を誤って故障したとき。
  - 誤った使用をした場合、また組立後、移動、あるいは輸送することから生じた損傷の場合。
  - 火災や地震など、天災地変、電圧降下や燃料、給水の供給事情によるもの及び人災による故障や損傷の場合。
  - 部品及び構造等に不当な修理や改造を加えた場合。
  - 日本国以外で使用了場合。
- 保証期間を経過したとき及び保証内容に該当しない故障の場合は実費ご負担願います。

※この取扱説明書やラベル類による指示、禁止、注意事項に反したご使用状態で万一事故が発生した場合、弊社は責任を負いかねます。

いつまでも快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが大切です。

なお、安全にお手入れをしていただくために、ゴム手袋などの着用をおすすめします。

#### ● はじめてお使いになる前に

◇ 平釜の内部をきれいにするために、1度洗ってからご使用ください。

#### ● 使用後のお手入れ

- 蓋を洗い、乾燥させてください。
- かまどやロストルは新聞紙などですすをこすり落としてください。
- バーナーは目詰まりしない様、炎孔掃除を行って下さい。

#### ● 保管について

直射日光、雨、風の当たらない、湿気の少ない屋内に保管してください。

## 仕 様

### ■基本スペック

|      |       |             |
|------|-------|-------------|
| 容 量  | 満水    | 81ℓ         |
|      | 適量    | 56ℓ         |
| バーナー | 出力    | 83680KJ     |
| 熱 量  | ガス消費量 | 1.67kg/h    |
| サイズ  | 組立時   | 980×H697mm  |
|      | 収納時   | φ820×H600mm |
| 質 量  |       | 43kg        |

## お問い合わせ

◎ 大和重工株式会社

● 本社・工場／〒731-0221 広島市安佐北区可部一丁目 21-23 TEL (082) 814-2101 (代)

ホームページで大和重工の製品情報をご覧ください。

[www.daiwajuko.co.jp](http://www.daiwajuko.co.jp)